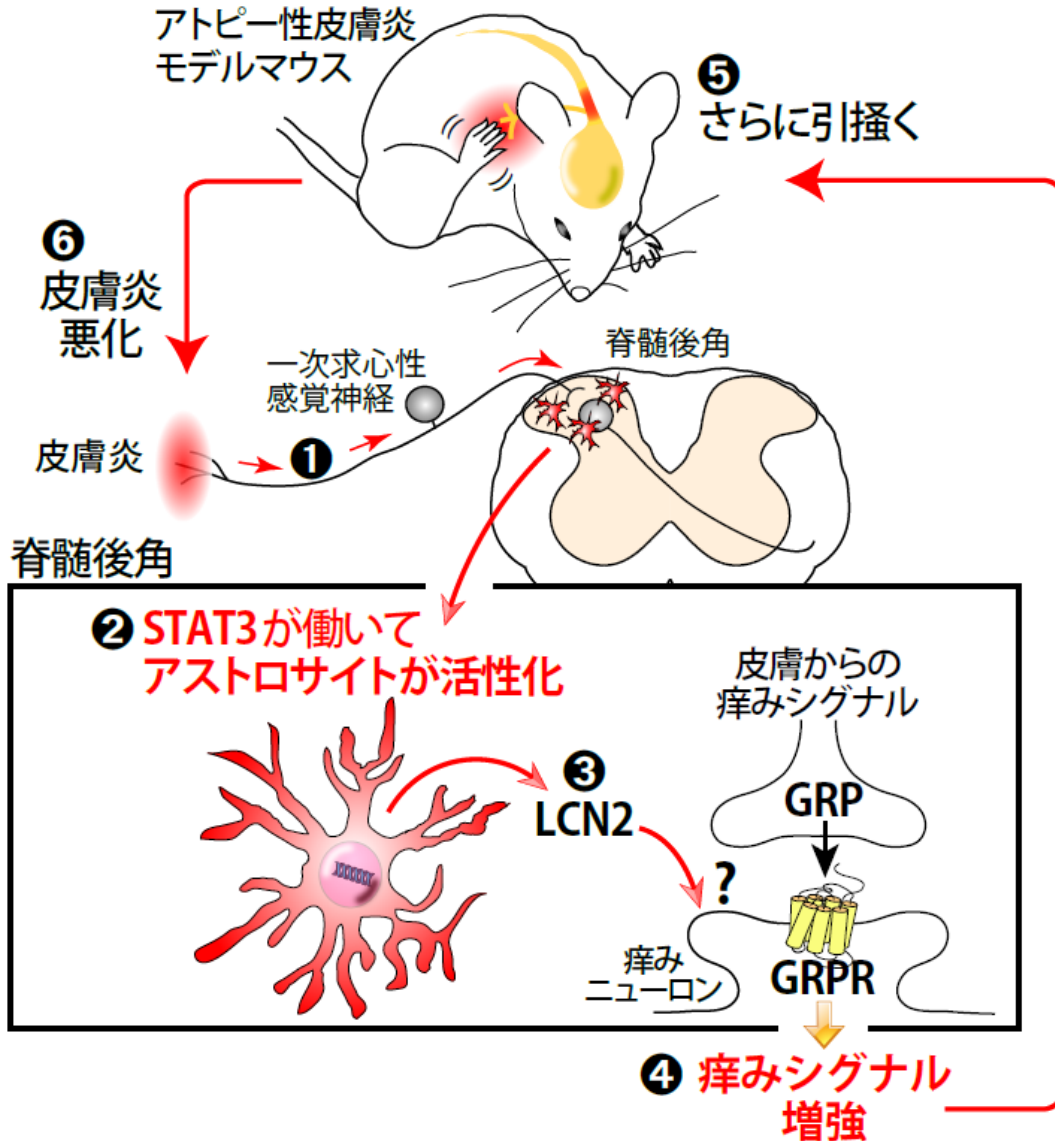


痒みの慢性化に関する脊髄後角でのメカニズム

九州大学大学院薬学研究院 津田誠

新しい慢性掻痒の神経系メカニズム



炎症皮膚からのシグナルが一次求心性感覚神経(①)を介して脊髄後角に入力し、STAT3依存的なアストロサイトの活性化を導き(②)、同細胞より産生されたLCN2(③)が脊髄の痒み物質GRPの作用を亢進して痒みを強め(④)、それが更なる引っ掻き行動を生み(⑤)、皮膚炎が悪化する(⑥)。

脊髄後角で活性化するアストロサイトが痒みの慢性化に関与

Nat Med, 21: 927-931, 2015

脊髄後角のアストロサイトを活性化する因子、アストロサイトと脊髄後角神経との相互作用が、痒みの慢性化における新しいメカニズムと創薬に大切 (現在進行中)

脊髄後角GABA神経の賦活で痒みが抑制される

J Dermatol Sci, 88: 251-254, 2017